

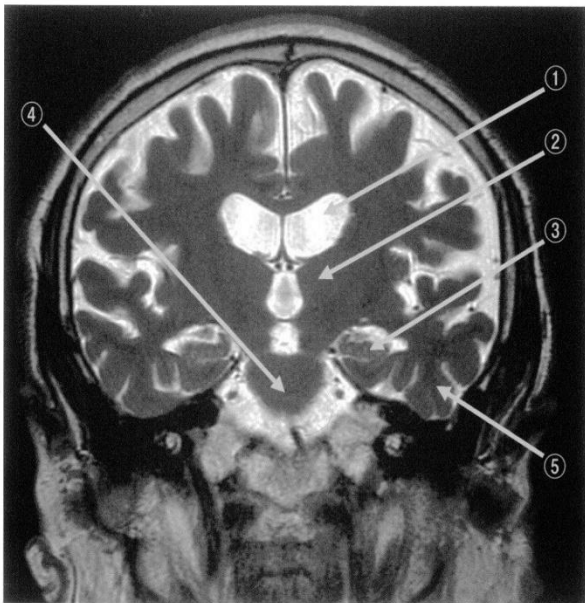
50-A-051 関節とその形状の組合せについて正しいのはどれか。

1. 肩関節——鞍関節
2. 肘関節——球関節
3. 上橈尺関節——車軸関節
4. 橈骨手根関節——平面関節
5. 母指 CM 関節——蝶番関節

50-A-052 筋と支配神経の組合せで正しいのはどれか。

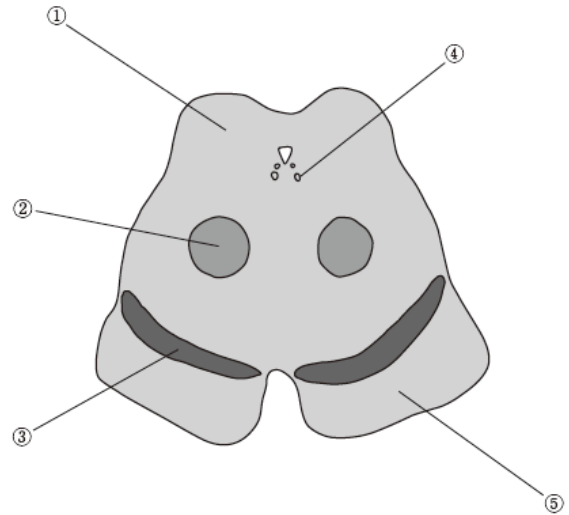
1. 腸骨筋——大腿神経
2. 大殿筋——上殿神経
3. 小殿筋——下殿神経
4. 前脛骨筋——脛骨神経
5. 内閉鎖筋——閉鎖神経

50-A-053 頭部 MRI の T2 強調像を示す。海馬はどれか。



1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

50-A-054 中脳レベルの横断面の構成図を示す。錐体路はどれか。



1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

50-A-055 二重神経支配の筋はどれか。

1. 肘筋
2. 上腕筋
3. 浅指屈筋
4. 手の骨間筋
5. 尺側手根屈筋

50-A-056 洞結節があるのはどれか。

1. 右心房
2. 右心室
3. 左心房
4. 頸動脈洞
5. 冠静脈洞

50-A-057 平衡聴覚器の解剖について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 耳管は咽頭に開口している。
2. 鼓膜はキヌタ骨に接している。
3. 内耳は側頭骨の錐体部内にある。
4. 前庭は蝸牛と三半規管からなる。
5. 中耳には聴覚と平衡覚をつかさどる感覚器がある。

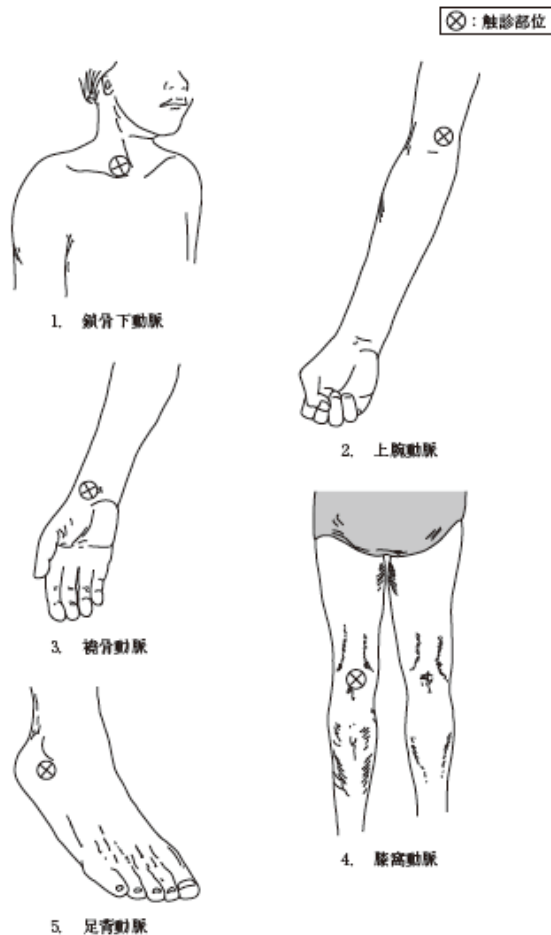
50-A-058 胸部の解剖について正しいのはどれか。

1. 縦隔の後面は心臓である。
2. 肺の栄養血管は肺動脈である。
3. 区域気管支は左右 10 本ずつある。
4. 第 3 肋骨は胸骨柄と関節を形成する。
5. 臓側胸膜と壁側胸膜は連続している。

50-A-059 消化器について正しいのはどれか。

1. 胆汁は胆嚢で産生される。
2. 膵臓は胃の後方に位置する。
3. 大腸は結腸と直腸からなる。
4. 小腸は十二指腸と回腸からなる。
5. 胃の肛門側の開口部を噴門という。

50-A-060 動脈の触診部位で誤っているのはどれか。



50-A-061 神経線維の特徴で正しいのはどれか。

1. 脳の白質は無髄神経線維である。
2. 無髄神経線維は Ranvier の絞輪を有する。
3. 自律神経節後線維は有髄神経線維である。
4. 有髄神経線維は太いほど圧迫で障害を受けやすい。
5. 有髄神経線維の伝導速度は線維の直径と反比例する。

50-A-062 折りたたみナイフ現象に関与する感覚神経線維はどれか。

1. I a
2. I b
3. II
4. III
5. IV

50-A-063 運動負荷による生体反応で誤っているのはどれか。

1. 脳血流は増加する。
2. 冠血流は増加する。
3. 肝血流は減少する。
4. 筋血流は増加する。
5. 皮膚血流は増加する。

50-A-064 組織液の還流で正しいのはどれか。

1. 肝障害では浮腫は生じない。
2. 組織液が過剰になった状態を浮腫という。
3. 組織液の 90% が毛細リンパ管に流入する。
4. リンパ管内のリンパは主幹動脈に流入する。
5. 組織液中の高分子の蛋白はリンパ管より末梢血管に多く流入する。

50-A-065 血液中の血小板について誤っているのはどれか。

1. 寿命は約 120 日である。
2. 直径は  $2\sim 5\mu\text{m}$  である。
3. 骨髄系骨幹細胞から生成される。
4. 減少すると出血時間が延長する。
5.  $20\text{万}/\text{mm}^3$  は基準範囲内である。

50-A-066 栄養素と吸収部位の組合せで正しいのはどれか。

1. 糖———空腸
2. 鉄———結腸
3. 脂肪———十二指腸
4. 蛋白質———胃
5. ビタミン B12———空腸

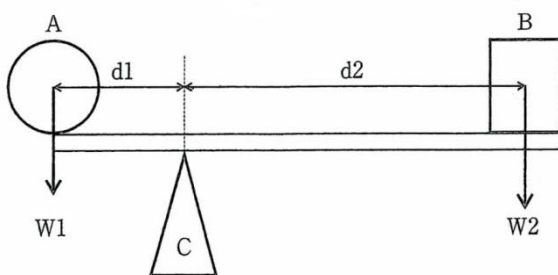
50-A-067 排尿で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 排尿反射の中樞は腰髄にある。
2. 外尿道括約筋は随意制御できる。
3. 膀胱は副交感神経活動で収縮する。
4. 外尿道括約筋は陰部神経活動で弛緩する。
5. 内尿道括約筋は副交感神経活動で収縮する。

50-A-068 内分泌器官と分泌されるホルモンの組合せで誤っているのはどれか。

1. 松果体———カルシトニン
2. 視床下部———ソマトスタチン
3. 副腎皮質———コルチゾール
4. 下垂体前葉———成長ホルモン
5. 下垂体後葉———バソプレシン

50-A-069 図のようにてこが釣り合っている場合、支点に作用する力の大きさはどれか。ただし、てこに重さはないものとする。



W1 : 物体 A にかかる力 (N)  
 W2 : 物体 B にかかる力 (N)  
 d1 : 物体 A から支点 C までの距離 (m)  
 d2 : 物体 B から支点 C までの距離 (m)

1.  $W1+W2$
2.  $d2 \times W2/d1$
3.  $d1 \times W1/d2$
4.  $d1 \times W1+d2 \times W2$
5.  $d1 \times W1+d2 \times W1$

50-A-070 基本肢位からの肩関節の運動で正しいのはどれか。

1. 広背筋は屈曲に作用する。
2. 棘上筋は内転に作用する。
3. 大円筋は外旋に作用する。
4. 肩甲下筋は内旋に作用する。
5. 棘下筋は水平屈曲に作用する。

50-A-071 前腕の回内に働く筋はどれか。

1. 深指屈筋
2. 示指伸筋
3. 尺側手根屈筋
4. 橈側手根屈筋
5. 長橈側手根伸筋

50-A-072 基本肢位から股関節の運動とそれに作用する筋の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 外旋———大殿筋
2. 伸展———腸腰筋
3. 内転———中殿筋
4. 屈曲———大腿二頭筋
5. 屈曲———大腿筋膜張筋

50-A-073 足部の運動で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 第三腓骨筋は内がえしに作用する。
2. 長母指伸筋は外がえしに作用する。
3. 長腓骨筋は横アーチの維持に作用する。
4. 長指屈筋は内側縦アーチの維持に作用する。
5. 後脛骨筋は外側縦アーチの維持に作用する。

50-A-074 正常歩行時の重心移動の減少への関与が小さいのはどれか。

1. 骨盤傾斜
2. 二重膝作用
3. 膝関節の回旋
4. 骨盤の回旋運動
5. 骨盤の側方移動

50-A-075 疾患と病理変化の組合せで誤っているのはどれか。

1. Parkinson 病———大脳白質の変性
2. 多発性硬化症———中枢神経の脱髄
3. Huntington 病———線条体の変性
4. Alzheimer 病———大脳皮質の変性
5. 筋萎縮性側索硬化症———脊髄前角細胞の脱落

50-A-076 冠血流を減少させる要因はどれか。

1. 収縮期血圧の減少
2. 心拍数の低下
3. 大動脈弁狭窄
4. 心房中隔欠損
5. 僧房弁狭窄

50-A-77 細菌感染によるのはどれか。

1. 梅毒
2. 痘瘡
3. 風疹
4. 猩紅熱
5. トラコーマ

50-A-078 ボツリヌス菌毒素製剤の作用機序について正しいのはどれか。

1. 末梢神経の破壊
2. ミトコンドリアの ATP 産生停止
3. アクチンとミオシン頭部の結合抑制
4. 抗アセチルコリン受容体抗体の産生
5. 神経終末部でのアセチルコリン分泌抑制

50-A-079 「30 分後にベルが鳴ったら訓練を終了してください」という課題を遂行する際に活用する記憶はどれか。

1. 意味記憶
2. 展望記憶
3. 手続き記憶
4. プライミング
5. エピソード記憶

50-A-080 MMSE ( mini mental state examination) に含まれ、HDS-R (改定長谷川式簡易知能評価スケール) に含まれない項目はどれか。

1. 計算
2. 見当識
3. 遅延再生
4. 構成課題
5. 言語流暢性課題

50-A-081 認知療法について正しいのはどれか。

1. 認知の歪みに働きかける。
2. 認知機能の改善効果がある。
3. 幼少期のこころの問題を主な対象とする。
4. 自動思考は無意識であるため同定しない。
5. 悲観的な思考を楽観的な思考に置き換える。

50-A-082 国際生活機能分類 (ICF) で活動に含まれるのはどれか。

1. 嚥下
2. 歩行
3. 言語表出
4. 呼吸機能
5. 関節の可動性

50-A-083 脊髄損傷の感覚障害について正しいのはどれか。

1. 馬尾神経症候群ではみられない。
2. 中心性頸髄損傷では上肢より下肢に強い。
3. 脊髄円錐症候群では肛門周囲が障害される。
4. 前脊髄動脈症候群では位置覚が障害される。
5. Brown-Séquard 症候群では病巣の反対側の位置覚が障害される。

50-A-084 頭頂葉の病変で生じる症候はどれか。

1. 歩行失行
2. 視覚失認
3. Anton 症状
4. Parkinson 症状
5. Gerstmann 症候群

50-A-085 我が国における平成 23 年以降の死因の第 1～3 位の組合せで正しいのはどれか。

1 位                      2 位                      3 位

1. 悪性新生物——心疾患——脳血管疾患
2. 悪性新生物——心疾患——自殺
3. 悪性新生物——心疾患——肺炎
4. 悪性新生物——脳血管疾患——心疾患
5. 悪性新生物——脳血管疾患——肺炎

50-A-086 病原体と主な感染経路の組合せで正しいのはどれか。

1. 結核——経口感染
2. MRSA——接触感染
3. 破傷風——媒介動物による感染
4. A 型肝炎——血液による感染
5. 帯状疱疹——飛沫感染

50-A-087 痙縮を生じにくい疾患はどれか。

1. 脳梗塞
2. 外傷性脳損傷
3. 中心性頸髄損傷
4. 胸椎黄色靭帯骨化症
5. 腰椎椎間板ヘルニア

50-A-088 物につかまらず立てる乳児においてみられるのはどれか。

1. 自動歩行
2. Moro 反射
3. 手掌把握反射
4. パラシュート反応
5. 非対称性緊張性頸反射

50-A-089 変形性関節症について正しいのはどれか。

1. 若年者に好発する。
2. 滑膜炎から軟骨の変性に至る。
3. 股関節では二次性関節症が多い。
4. 膝関節では女性に比べ男性の有病率が高い。
5. 発症要因として遺伝的素因は認められない。

50-A-090 骨折後に偽関節を生じやすいのはどれか。

1. 手の舟状骨
2. 鎖骨遠位部
3. 橈骨遠位部
4. 中手骨骨幹部
5. 上腕骨近位部

50-A-091 急性心筋梗塞の発症後の血液検査所見でないのはどれか。

1. 白血球増加
2. トロポニン上昇
3. クレアチニン上昇
4. 乳酸脱水素酵素 (LD) 上昇
5. クレアチンキナーゼ (CK) 上昇

50-A-092 筋強直性ジストロフィーにみられるのはどれか。2 つ選べ。

1. 痙縮
2. 下垂足
3. 斧状顔貌
4. ジストニア
5. 有痛性けいれん

50-A-093 Guillain-Barré 症候群について正しいのはどれか。

1. 顔面神経麻痺から発症する。
2. 髄液中の蛋白が上昇する。
3. 自律神経障害はみられない。
4. 呼吸筋麻痺はみられない。
5. 再発と寛解とを繰り返す。

50-A-094 大腸癌について誤っているのはどれか。

1. 食生活が発症に影響する。
2. 組織型は腺癌が最も多い。
3. 転移は肺転移が最も多い。
4. 我が国では胆管癌より有病率が高い。
5. 便潜血陽性が診断上重要な所見である。

50-A-095 肝硬変の患者が多量の吐血をした場合の原因として可能性が高いのはどれか。

1. 出血性胃炎
2. 吻合部潰瘍
3. 食道静脈瘤
4. アカラシア
5. 逆流性食道炎

50-A-096 Alzheimer 型認知症と比較して Levy 小体型認知症に特徴的なのはどれか。

1. 常同行為
2. 取り繕い
3. 物盗られ妄想
4. 繰り返される幻視
5. 初期からの記憶障害

50-A-097 統合失調症で通院中の女性が壁を凝視したまま動かない。両上肢を拳上させるとそのままの姿勢を撮り続けた。考えられるのはどれか。

1. アカシジア
2. 悪性症候群
3. 急性ジストニア
4. 緊張病症候群
5. 薬剤性パーキンソニズム

50-A-098 双極性障害について正しいのはどれか。

1. 発症率は女性が2倍多い。
2. 気分安定薬が用いられる。
3. II型では重度の躁状態がみられる。
4. 単極性うつ病より遺伝性素因が少ない。
5. 同一個人では躁病相の回数よりうつ病相の回数が多い。

50-A-099 強迫性障害について誤っているのはどれか。

1. 曝露反応妨害法が用いられる。
2. 強迫行為はさせられ体験による。
3. 対称性へのこだわりがみられる。
4. 不合理な観念が繰り返し浮かぶ。
5. 選択的セロトニン再取り込阻害薬が用いられる。

50-A-100 12歳の女兒。寝不足の朝、突然に顔面や上肢にびくつきが生じて物を落とす。このときに意識消失はない。脳波で光過敏性を認める。考えられるのはどれか。

1. 覚醒時大発作てんかん
2. 若年性ミオクロニーてんかん
3. 小児欠神てんかん
4. 側頭葉てんかん
5. Lennox-Gastaut 症候群

50-P-051 骨について正しいのはどれか。

1. 皮質骨は骨梁から形成される。
2. 皮質骨はコラーゲンを含まない。
3. 海綿骨にはハバース管が存在する。
4. 海綿骨の表面は骨膜で覆われている。
5. 骨端と骨幹端の間に成長軟骨板がある。

50-P-052 月状骨と関節を構成しないのはどれか。

1. 橈骨
2. 三角骨
3. 有鉤骨
4. 有頭骨
5. 小菱形骨

50-P-053 肋骨に付着する筋はどれか。

1. 広背筋
2. 僧帽筋
3. 小円筋
4. 大菱形筋
5. 肩甲下筋

50-P-054 筋と支配神経の組合せで正しいのはどれか。

1. 小円筋———腋窩神経
2. 棘上筋———肩甲下神経
3. 三角筋———肩甲上神経
4. 大円筋———肩甲上神経
5. 肩甲下筋———腋窩神経

50-P-055 筋と付着部の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 恥骨筋———大腿骨頸部
2. 縫工筋———下前腸骨棘
3. 短内転筋———恥骨上枝
4. 長内転筋———恥骨結節
5. 大腿二頭筋———腓骨頭

50-P-056 大脳の領野と部位の組合せで正しいのはどれか。

1. 一次運動野———側頭葉
2. 一次嗅皮質———後頭葉
3. 一次視覚野———前頭葉
4. 一次聴覚野———辺縁葉
5. 一次体性感覚野———頭頂葉

50-P-057 深腓骨神経が支配する筋はどれか。2つ選べ。

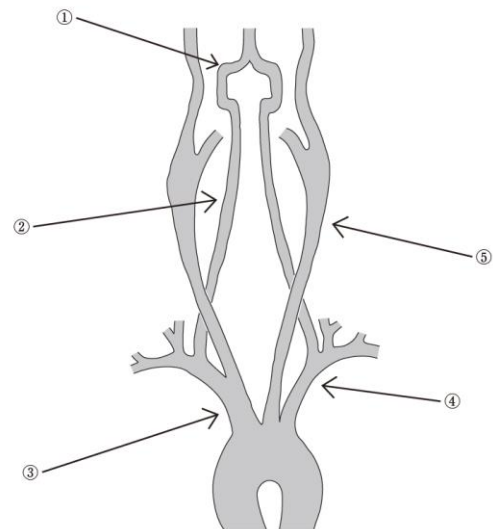
1. 長指伸筋
2. 後脛骨筋
3. 短腓骨筋
4. 第三腓骨筋
5. 腓腹筋

50-P-058 上咽頭後壁の触覚をつかさどる神経はどれか。

1. 舌咽神経
2. 顔面神経
3. 迷走神経
4. 三叉神経
5. 第2頸神経

50-P-059 大動脈から頭頸部に至る動脈の模式図を示す。

動脈の位置と名称の組合せで正しいのはどれか。



1. ①———後下小脳動脈
2. ②———椎骨動脈
3. ③———総頸動脈
4. ④———腕頭動脈
5. ⑤———鎖骨下動脈

50-P-060 染色体と細胞分裂について正しいのはどれか。

1. 常染色体は46個ある。
2. Y染色体はX染色体より大きい。
3. 減数分裂は生殖細胞にみられる。
4. 細胞分裂は小胞体の移動から始まる。
5. トリソミーは性染色体が3つある状態である。

50-P-061 運動単位について正しいのはどれか。

1. 運動神経終末には髄鞘がある。
2. 運動終板は筋線維の深部に存在する。
3. 運動神経活動電位の発生によって筋弛緩が生じる。
4. 運動神経終末のシナプス間隙にドパミンが放出される。
5. 正常では1つの筋線維につき1個の神経筋接合部が存在する。

50-P-062 静止している人が、動いている乗り物を注視する際にみられる生理的な眼球運動に含まれるのはどれか。

1. 固視微動
2. 注視眼振
3. 頭位眼振
4. 回転後眼振
5. 視運動性眼振

50-P-063 副交感神経の作用はどれか。

1. 気管支の収縮
2. 心拍数の増加
3. 涙液の分泌抑制
4. 膝液の分泌抑制
5. 内肛門括約筋の収縮

50-P-064 レム睡眠について正しいのはどれか。

1. 筋緊張が亢進する。
2. 脳波は高振幅である。
3. 入眠直後に多く出現する。
4. 急速眼球運動がみられる。
5. 一晩に 20 回程度みられる。

50-P-065 酸塩基平衡で正しいのはどれか。

1. 正常の血液 pH は 7.0 である。
2. 嘔吐では代謝性アルカローシスになる。
3. 過換気では呼吸性アシドーシスになる。
4. 呼吸性アルカローシスでは尿は酸性になる。
5. 代謝性アルカローシスでは Kussmaul 呼吸がみられる。

50-P-066 腎臓の尿細管で再吸収されるのはどれか。

1. アミノ酸
2. イヌリン
3. アンモニア
4. クレアチニン
5. ミオグロビン

50-P-067 排便機構で正しいのはどれか。

1. 排便中枢は第 10～12 胸髄に存在する。
2. 排便反射では外肛門括約筋が収縮する。
3. 下行結腸に便が貯留すると便意を生じる。
4. 胃結腸反射により結腸の蠕動運動が亢進する。
5. 副交感神経系は消化管運動に抑制的に作用する。

50-P-068 基礎代謝について誤っているのはどれか。

1. 安静臥床で計測する。
2. 体温の上昇によって増加する。
3. 同性、同年齢ならば体表面積に比例する。
4. 代謝当量 (METs) は、作業代謝量 ÷ 基礎代謝量で表す。
5. 食後の消費エネルギー増加は、脂質摂取に比べ蛋白質で大きい。

50-P-069 筋と呼吸運動の組合せで正しいのはどれか。

1. 横隔膜——吸気
2. 腹直筋——吸気
3. 大胸筋——呼気
4. 内肋間筋——吸気
5. 胸鎖乳突筋——呼気

50-P-070 嫌氣的代謝の過程で生成される物質はどれか。

1. クエン酸
2. コハク酸
3. リンゴ酸
4. ピルビン酸
5. イソクエン酸

50-P-071 肩甲骨の上方回旋に働く筋はどれか。

1. 前鋸筋
2. 小胸筋
3. 広背筋
4. 大菱形筋
5. 肩甲挙筋



50-P-072 基本肢位からの股関節の運動について正しいのはどれか。

1. 屈曲時に腸脛靭帯は緊張する。
2. 伸展時に坐骨大腿靭帯は緊張する。
3. 外転時に大腿骨頭靭帯は緊張する。
4. 内旋時に恥骨大腿靭帯は緊張する。
5. 屈曲時に腸骨大腿靭帯は緊張する。

50-P-073 疾患または症候と異常歩行の組合せで誤っているのはどれか。

1. 運動失調——酩酊歩行
2. Parkinson 病——すくみ足歩行
3. 脳卒中片麻痺——尖足歩行
4. 総腓骨神経麻痺——分回し歩行
5. 両下肢痙性麻痺——はさみ脚歩行

50-P-074 成人の静止立位で正しいのはどれか。

1. 重心線は足関節軸の前方を通る。
2. 重心線は膝関節軸の後方を通る。
3. 重心線は環椎後頭関節の後方を通る。
4. 重心位置は第2腰椎のやや前方にある。
5. 小児より身長に対する重心位置が高い。

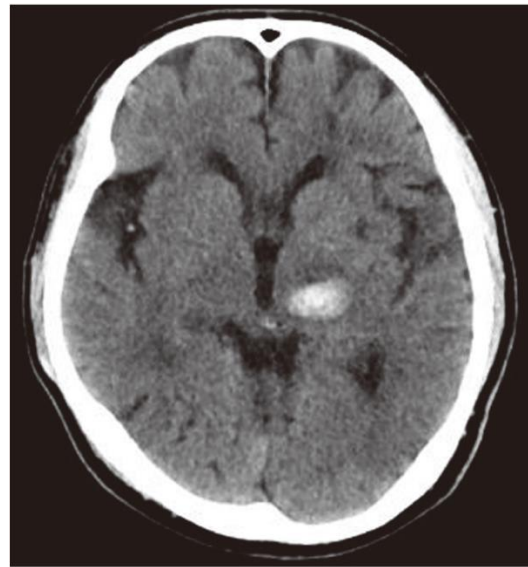
50-P-075 扁平上皮癌の特徴はどれか。

1. 粘液を産生する。
2. 神経組織に由来する。
3. 複数の胚葉成分を含む。
4. 細胞は相互に結合している。
5. 細胞間に間質成分がみられる。

50-P-076 心拍出量が最も小さいのはどれか。

1. 背臥位
2. 腹臥位
3. 右側臥位
4. 左側臥位
5. リクライニング位

50-P-077 頭部 CT を示す。出血部位はどれか。



1. 頭頂葉皮質下
2. 放線冠
3. 被殻
4. 視床
5. 橋

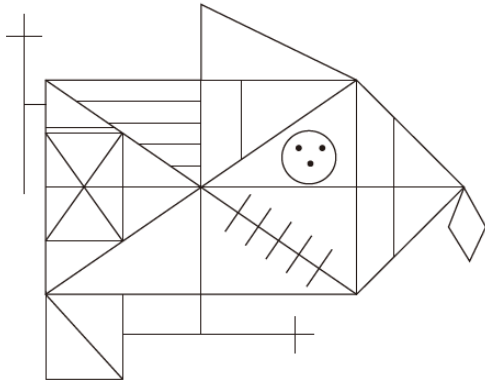
50-P-078 個人的な無意識とは別に「神話や伝承などに人類共通の普遍的無意識がある」と言ったのはどれか。

1. Adler
2. Jaspers
3. Jung
4. Kraepelin
5. Schneider

50-P-079 憧れの人の口調や身振りをまねる心理はどれか。

1. 昇華
2. 退行
3. 同一化
4. 反動形成
5. 置き換え

50-P-080 図に示す課題を用いるのはどれか。



1. Bender gestalt test
2. Raven's colored progressive matrices
3. Rey auditory verbal learning test
4. Rey-Osterrieth complex figure test
5. Stroop test

50-P-081 訓練療法はどれか。

1. 催眠療法
2. 絵画療法
3. 森田療法
4. 精神分析療法
5. 来談者中心療法

50-P-082 院内感染対策として適切でないのはどれか。

1. 二次感染の防止
2. 感染経路の把握
3. ガウンテクニック
4. 抗菌薬の予防的投与
5. 院内ガイドラインの作成

50-P-083 介護保険法の特定疾病に含まれるのはどれか。

1. 筋ジストロフィー
2. 多発性硬化症
3. 多発性筋炎
4. ポリオ後症候群
5. Parkinson 病

50-P-084 出血部位と出現しやすい症候の組合せで正しいのはどれか。

1. 被殻——作話
2. 皮質下——複視
3. 視床——注意障害
4. 小脳——反響言語
5. 橋——半側空間無視

50-P-085 結核について正しいのはどれか。

1. 病変は肺に局限する。
2. 菌は胃酸の中では死滅する。
3. 初期から閉塞性換気障害を呈する。
4. 我が国では新規発症は年間 100 例未満である。
5. 診断した医師は保険所に届け出なければならない。

50-P-086 HIV (ヒト免疫不全ウイルス) について誤っているのはどれか。

1. HIV 感染によりニューモシスチス・カリニ肺炎の発症率が上昇する。
2. AIDS (後天性免疫不全症候群) は HIV 感染によって生じる。
3. AIDS 発症の抑制に有効な治療薬がある。
4. HIV は喀痰から感染する危険が高い。
5. HIV は T リンパ球を死滅させる。

50-P-087 原始反射とその説明の組合せで正しいのはどれか。

1. Moro 反射——両上肢の拳上
2. 緊張性迷路反射——腹臥位での四肢の伸展
3. 非対称性緊張性迷路反射——顔を向けた側の上下肢屈曲
4. Galant 反射——刺激側が凸になる体幹の側屈
5. 台のせ反応——刺激側足関節の底屈

50-P-088 小児の正常発達で最も早く可能になるのはどれか。

1. 手掌握り
2. 高這い移動
3. 1人で座る
4. つかまり立ち
5. バイバイをする

50-P-089 加齢に伴い増加するのはどれか。

1. 速筋線維
2. ビタミン D
3. 成長ホルモン
4.  $\alpha$ 運動神経細胞
5. 炎症性サイトカイン

50-P-090 骨折の名称と部位の組合せで正しいのはどれか。

1. Monteggia 骨折——上腕骨
2. Cotton 骨折——橈骨
3. Malgaigne 骨折——骨盤
4. Jefferson 骨折——大腿骨
5. Bennett 骨折——脛骨

50-P-091 頸椎椎間板ヘルニアについて正しいのはどれか。

1. 女性に多く発症する。
2. 60～70 代に好発する。
3. 下肢症状より上肢症状で始まることが多い。
4. C6、7 間の外側型ヘルニアでは腕橈骨筋反射が亢進する。
5. 座位で両肩関節を過外転すると橈骨動脈の拍動が減弱する。

50-P-092 Duchenne 型筋ジストロフィーの特徴で正しいのはどれか。

1. 下肢筋力が上肢筋力より早く低下する。
2. 出生時から筋緊張低下がみられる。
3. 15～20 歳で歩行不能となる。
4. 常染色体劣性遺伝である。
5. ミオトニア現象を認める。

50-P-093 筋萎縮性側索硬化症にみられるのはどれか。

1. 筋固縮
2. 痛覚脱失
3. 測定異常
4. 線維束攣縮
5. 筋の仮性肥大

50-P-094 急性膵炎について正しいのはどれか。

1. 膵石がみられる。
2. 60 歳以上の女性に多い。
3. アルコール性が最も多い。
4. 初期から糖尿病を合併する。
5. 重症での死亡率は 1%未満である。

50-P-095 右心不全の直接的原因として正しいのはどれか。

1. 高血圧
2. 肥大型心筋症
3. 僧房弁閉鎖不全症
4. 原発性肺高血圧症
5. 大動脈弁閉鎖不全症

50-P-096 アルコール依存症に関連が少ないのはどれか。

1. ペラグラ脳症
2. Cotard 症候群
3. Wernicke 脳症
4. Liepmann 現象
5. Korsakoff 症候群

50-P-097 自我の障害はどれか。

1. アンヘドニア
2. 観念奔逸
3. 妄想気分
4. 離人症
5. 連合弛緩

50-P-098 家族がすぐにでも病気になるのではな  
いか、という心配を繰り返し訴えるのはどれか。

1. 解離性障害
2. 強迫性障害
3. 社交（社会）不安障害
4. 全般性不安障害
5. 広場恐怖

50-P-099 パーソナリティ障害と特徴の組合せで正しいのはどれか。

1. 依存性パーソナリティ障害———嗜癖
2. 演技性パーソナリティ障害———被暗示性
3. 回避性パーソナリティ障害———冷淡
4. 統合失調症質パーソナリティ障害——攻撃性
5. 非社会性パーソナリティ障害———几帳面

50-P-100 小児の精神障害で正しいのはどれか。

1. 吃音は女兒に多い。
2. 分離不安障害は学童期に多い。
3. 反応性愛着障害は過度に警戒的である。
4. 反抗挑戦性障害の症状は家庭内に限局する。
5. 注意欠陥/多動性障害では成長につれて多動よりも不注意が軽快しやすい。